



今回の探索会の集合場所は東部スカイツリーライン小菅駅。
参加者は17人。

「主なコース」 小菅駅→東京拘置所→正覚寺→小菅神社→
古隅田川緑道

「東京拘置所」

小菅駅ホームを降りるとすぐ目に飛び込むのは巨大な要塞のような東京拘置所。

オウム真理教の教祖、麻原彰晃等が収監されたことでも有名。

この地は江戸時代初期、関東群代の伊奈氏の下屋敷（上屋敷は川越市）がおかれ、その広さは約10万坪に及んだ。江戸時代中期になると将軍家鷹狩り時の休憩所として、小菅御殿が設けられた。

大政奉還後の1869年（明治2年）、明治政府はこの地に武蔵国内の旧幕府領・旗本領を管轄する小管県の県庁を置いた。



「銭座とレンガ工場跡」



現在、西小学校がある敷地には江戸時代に設けられた銭座と明治5年に造られたレンガ工場があった。

銭座とは幕府から銭貨の铸造、発行を任された機関。金座や銀座のような常設でなく、铸践が必要になってくると請け負わされて作った所。

「正覚寺」

真言宗豊山派。明治時代に県庁舎が設置された時、当寺にわが国最初の公立学校といわれる小菅県立学校が開設された。

「小菅神社」

明治2年に小菅県が設置された際、庁内に勧請された小菅神社は、その後小菅村の鎮守であった田中稲荷神社の境内に移され、合祀、小菅神社となった。



「古隅田川緑道」

平安時代、古隅田川を挟んで、葛飾区側が下総国。足立区側は武蔵国。

古隅田川緑道は葛飾区と足立区の共同事業として整備され、両区民の安らぎの場を創出する出会いの川・古隅田川をテーマとしている。水路にはコイやメダカの泳ぐ姿を見られる他、春には水路沿いのデッキから満開の桜並木を観ることが出来る。

「反省会」

綾瀬駅で解散。有志で近くの飲食店で反省会。ビールが美味しかった。

(記、菅原清徳)